

『メディアが体と心と

人間関係に与える影響』

＜第2回学校保健委員会＞



23日（金）に、第2回学校保健委員会を行いました。最初に児童保健委員会が、アンケート結果をもとにした発表を行いました。十四山東部小学校は、テレビやゲーム、スマホなどにかけている時間が大変長く、このままでは『あんぼんたん症候群』になってしまうという寸劇で、その危険性を伝えてくれました。



その後、愛知教育大学准教授 山田浩平先生に、「メディアが体と心と人間関係に与える影響」というタイトルで講演してもらいました。ゲームやスマホなどのメディアに長時間関わると、姿勢や視力だけでなく、セロトニン低下により心にも悪影響が生じるという内容でした。メディアの利用時間を「平日2時間、休日4時間を超えない」というまとめを、みなしっかり理解することができたようです。しかし、実際メディアに関わると、いつの間にか時間が過ぎてしまうので、ご家庭でもルールを決めるなど話し合って上手に活用してください。



平成30年度前期児童会役員選挙

23日（金）に次年度の前期児童会役員選挙を行いました。5年生は、「4月からは自分たちが学校の中心でがんばるんだ」という意識をもって立候補したり演説を聞いたりできました。4年生は、初めて立候補できる立場になり進んで取り組もうという意識が感じられました。「もっと元気なあいさつができるようなあいさつ運動に取り組みたい」「学校中が仲良くなれる集会を工夫したい」「ペットボトルキャップの運動を続ける」など、立候補者はそれぞれ全校のことを考えた抱負を発表してくれました。立ち会い演説終了後の投票では、立候補者の演説を思い出しながら真剣に考えて一票を投じることができました。一般の選挙権が18歳に引き下げられ、高校での「主権者教育」の大切さが取り上げられるようになっていきます。こうして小学校の頃から、選挙に対する意識を育てる機会にしていきたいと思えます。

